



発寒ひかり
保育園だより

2025年
4月号

巻頭言

今年は春が足踏みしているような天気が続いています
が、先日、卒園式が行われ、26名の年長児が巣立ってい
きました。

卒園式後の保護者の方から感想をいただいた中の一つを
ご紹介します。

『(略) △△さん (年長児の保護者代表の方) のスピーチ
ですべて代弁していただいたのですが、毎朝登園しづりか
ら始まり、帰りはいつ帰れるんだ：という日々、気に入ら
ないと手をあげて泣き叫んでいて、保育園でも同じだった
らどうしようと悩んだこと：どんなときも、保育園に行け
ば先生が (私のも) 話を聞いてくれて、○○をいつでもぎ
ゅーっとしてくれて、こんなに大切にしてくれる環境は、
人生でもそうないと思うので、○○の根っこになったと思
います。(略)』

26人の内の1人ではなく、1人ひとりが集まった26
人です。子どもたちにもそれぞれのドラマがあり、それと
同じように保護者の皆さまにも語りつくせないほどの沢山
のドラマがあったのではないのでしょうか。

発達心理学が専門の大日向雅美先生 (恵泉女学園大学学
長) が「小さい子どもにとって大切なのはお母さんだけと
は限らない。十分、愛してくれる人が大切」と話されてい
ました。

新年度がスタートしますが、私たち保育園がその一翼を
担う存在になれるよう、これからも日々努力をしていきたく
いと思います。

園長 阿部 尚子